

より多くのなかまを職場で迎えよう

2022年1月5日号
第227号

毎月2回5日・20日発行

発行所

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 国土交通労働組合
電話(03)3580-4244 F A X (03)3593-0359
URL: http://kokkoroso.or.jp/
発行者: 山崎 正人
1部20円(組合員の購読料は組合費に含む)



2022年1月5日 国交労組 第227号(通巻1383号) 昭和37年12月3日 第三種郵便物認可

組 労 交 国

明けましておめでとうございます 今年もどうぞよろしくお願い申し上げます

初春



新年のご挨拶

国土交通労働組合に結集する全国のなかまのみなさん、新年あけましておめでとうございます。

日本国内に新型コロナウイルスの感染が確認されてからちょうど2年が経過しようとしています。この間、感染拡大防止としてテレワークの推進や「7割の出勤回避」など、働き方にも様々な制限がかけられるなかで、組合員の要求実現のために労働条件改善、生活改善のとりくみなどに結集し、こうしたたたかいを途切れさせることなく日々奮闘いただいたことに、心から敬意を表します。コロナ禍をめぐっては、感染拡大が減少の兆しをみせるなかで、昨年9月30日をもって緊急事態宣言等は解除され、国民生活もようやく元通りになろうかとしているなか、年末には世界中を席巻しはじめたオミクロン株が、日本国内でも徐々に確認されるなど、「第6波」も懸念される状況となっております。あらためて組合員やそのご家族をはじめとしたなかまのみなさんの「健勝を心よりお祈り申し上げます。

さて、年末に住友生命が募集した2021年の「創作四字熟語」は「七『菌』八起」(ななコロナやおき)が最優秀賞となりました。国内感染は一定の収束の兆しが見えるも、6波が来ても7波が来ても「八起」の精神で立ち上がり、という想いが良く表れた語句だと思います。もともと「七転八起」は、誰もが知る語句であり、「平時」ではとりわけ気に留めない言葉ではありますが、皮肉にもコロナ禍によってあらためてこの「意味」を深く実感させられる機会となりました。

労働組合運動においても、私たちの要求実現には様々な困難が立ちほだかつており、まさに「七転八起」の精神が求められています。何度も粘り強く、その障壁を乗り越えていくための計画を練り、絶えずたたかい続けることが肝要となっております。

くわえて、コロナ禍では、政府の施策がどうだったのかは横に置いておいても、国民一人ひとりの努力や行動が、感染拡大を一定抑え込むことにつながったと考えていますが、こうした点でも労働組合運動に置き換えることができると思っております。要求実現のためには、組合員一人ひとりが、仕事や家庭で多忙ではあっても、それぞれ「できること」を考え、たとえ小さな役割であっても、みんなの力を合わせる事が重要です。組合員の心と力が一つになれば、「組織の力」は、より大きなものになることは間違いないと思います。

一方、12月に発表された2021年の世相を表す「漢字」は「金」に決定し、東京オリンピック・パラリンピックで日本人選手が多くの金メダルを獲得したことが主な理由とされています。くわえて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う飲食店への休業支援金や給付金などお金にまつわる話題が多かったこともあげられています。コロナ禍においては、本来、もっとも大事にされるべきエッセンス、いわゆる「雇用や賃金削減も大きな問題となり、いままな、低所得に苦しむ労働者も数多く残り残されていることも事実となっております。『金』に関していえば、私たち労働者にとって賃金や一時金の引き下げだけに限らず、年金改悪、不公平な税金など改善されるべき多くの課題が残っています。とりわけコロナ禍で生活に困窮する人たちが適切な給付をするなど、早急な対応が求められています。また、昨年末からは中国や米国を中心に経済活動の再開が本格化するなか、世界的な食料需要の高まりにくわえて、原油価格の高騰で原料費や物流費が上がったため、食料品等の価格が軒並み値上げされる状況となっております。さらに国民生活を圧迫する状況にもなっていることから、賃金引き上げのたたかいは、よりいっそう重要なものとなっております。

そうしたもので、いよいよ「2022年国民奮闘がスタートします。この間、私たちは全労連の最賃アクションプランのとりくみに結集しながら、「コロナ禍だからこそ賃上げ」を合言葉に、賃金引き上げの風潮をつくりだし、不十分ながらも全国最低賃金の平均28円(時給)の引き上げを実現しました。引き続きこの流れを大きなものにし、22春闘では、より広範な国民・労働者のなかまと手をとり合い、安心して生活できる賃金水準を勝ちとるためにさらに奮闘しようではありませんか。

最後になりますが、国土交通労働組合に結集するなかまのみなさん、私たちの業務はすべて、国民が安全・安心な生活を送るうえで、なくてはならない役割を担っています。国民の期待に応えられる良い仕事を行うためにも、公務の第一義である公正・公平かつ「全体の奉仕者」として誇り高く働けるような職場環境づくり、そして労苦が報われる適切な処遇により安心して働ける環境が重要となっております。要求改善については、みんなで団結して声をあげ、そして行政組織として誤った政策がとられようとするならば、みんなで団結して反対し、改善させていくことをあらためてお願いしたいと思います。未加入者のみなさんにも一緒にたたかうなかまに加わっていただくことも率直に呼びかけたいと思います。

今年一年、どうぞよろしくお願い申し上げます。

国土交通労働組合 中央執行委員長 山崎正人

国土交通労働組合
中央執行委員会 一同